

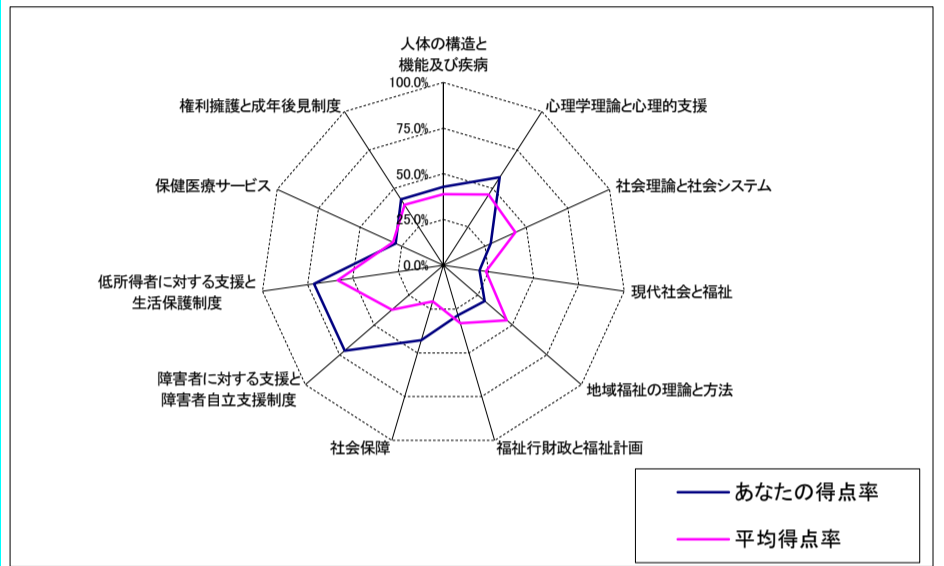
平成28年度社会福祉士・精神保健福祉士 全国統一模擬試験

個人成績表

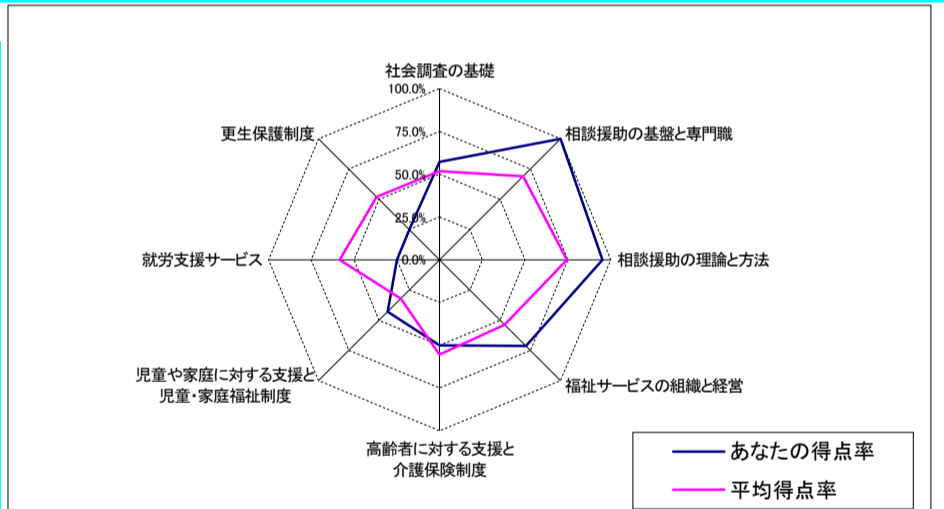
養成校名：
(名前：中法 太郎 様 受験番号：16B000-2004C)

■総合成績											
	得点／配点		得点率	平均点	平均得点率	標準偏差	全国順位	受験者数	学内順位	学内人数	0点注意
共通科目	34	／ 83	41.0%	31.3	37.7%	7.49	3202	10267	136	342	
専門科目(社会福祉士)	46	／ 67	68.7%	40.1	59.8%	7.32	1647	8965	61	265	
専門科目(精神保健福祉士)											
総合(社会専門＋共通)	80	／ 150	53.3%	71.2	47.5%	13.56	2160	8837	82	242	
総合(精神専門＋共通)											

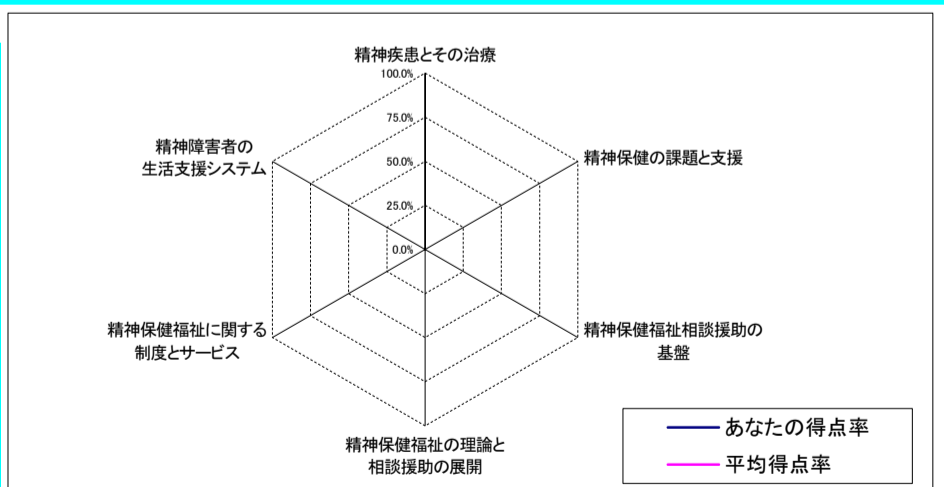
■共通科目 科目別成績							
科目	得点／配点	得点率	平均点	平均得点率	標準偏差	0点注意	アンケート
人体の構造と機能及び疾病	3 / 7	42.9%	2.7	38.8%	1.29		
心理学理論と心理的支援	4 / 7	57.1%	3.2	45.9%	1.34		
社会理論と社会システム	2 / 7	28.6%	3.0	43.5%	1.30		
現代社会と福祉	2 / 10	20.0%	2.4	23.6%	1.39		
地域福祉の理論と方法	3 / 10	30.0%	4.6	46.0%	1.60		
福祉行財政と福祉計画	2 / 7	28.6%	2.3	33.0%	1.19		
社会保障	3 / 7	42.9%	1.4	20.7%	1.08		
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	5 / 7	71.4%	2.6	37.3%	1.29		
低所得者に対する支援と生活保護制度	5 / 7	71.4%	4.1	58.3%	1.39		
保健医療サービス	2 / 7	28.6%	2.1	30.3%	1.26		
権利擁護と成年後見制度	3 / 7	42.9%	2.7	39.3%	1.40		



■社会専門科目 科目別成績							
科目	得点／配点	得点率	平均点	平均得点率	標準偏差	0点注意	アンケート
社会調査の基礎	4 / 7	57.1%	3.6	51.7%	1.39		
相談援助の基盤と専門職	7 / 7	100.0%	4.8	69.0%	1.37		
相談援助の理論と方法	20 / 21	95.2%	15.6	74.5%	2.70		
福祉サービスの組織と経営	5 / 7	71.4%	3.8	53.7%	1.46		
高齢者に対する支援と介護保険制度	5 / 10	50.0%	5.5	55.5%	1.69		
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	3 / 7	42.9%	2.2	32.1%	1.28		
就労支援サービス	1 / 4	25.0%	2.3	58.4%	1.01		
更生保護制度	1 / 4	25.0%	2.1	51.9%	1.04		



■精神専門科目 科目別成績							
科目	得点／配点	得点率	平均点	平均得点率	標準偏差	0点注意	アンケート
精神疾患とその治療							
精神保健の課題と支援							
精神保健福祉相談援助の基盤							
精神保健福祉の理論と相談援助の展開							
精神保健福祉に関する制度とサービス							
精神障害者の生活支援システム							



0点注意・・・
実際の試験では、得点のない科目（「0点科目」）がある場合、合計得点に関わらず不合格の扱いになります。
このため、0点の科目があった場合には※マークを表示して、注意を促します。

標準偏差・・・
統計値全体の「ばらつき」を表す目安の値です。
この値が大きいほど、得点の高い人から低い人までの分布の幅が広いことになり、逆に得点の分布が全体的に平均点付近に集中するような場合、標準偏差の値は小さくなります。

アンケート・・・
試験（学校受験）後に解答いただいた内容です。問題の難易度の印象（1、「易しい」～5、「難しい」の5段階評価）と成績結果を把握して、
国家試験までの試験対策にお役立てください。

問題に補遺・訂正がある場合は、全国統一模擬試験専用ホームページ(<http://www.spw-mosi.com/exam/>)に掲載いたします。

共通科目 設問別成績

科目	No	設問内容	あなたの解答	判定	正答率	注意
人体の構造と機能及び疾病	1	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	2	×	15.3	
	2	認知症の症状や病態	4	×	45.1	☆
	3	精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-5)	3	×	52.8	☆
	4	人の成長・発達	2	×	20.0	
	5	人体の機能と構造	2.4	○	42.2	
	6	国際生活機能分類(ICF)	5	○	24.4	
	7	障害とリハビリテーション	2	○	72.1	
心理学理論と心理的支援	8	ストレスへの対処法(コーピング)	4	○	88.8	
	9	非指示的応答	2	○	67.6	
	10	心理療法	1	○	41.3	
	11	記憶の障害	3	×	58.0	☆
	12	原因帰属	4	×	15.9	
	13	オペラント条件づけ	1	×	25.2	
	14	親子関係	3	○	24.8	
社会理論と社会システム	15	法と社会システム	4	○	70.8	
	16	社会変動	5	×	40.3	☆
	17	家族	4	○	68.5	
	18	社会問題	4	×	41.1	☆
	19	地域や農村を論じた日本の学者	3	×	51.2	☆
	20	国民生活時間調査	4	×	8.9	
	21	社会的行為	3	×	23.6	
現代社会と福祉	22	日本の福祉政策における所得再分配機能	3	×	33.8	
	23	貧困と資源の配分方法	3	×	22.4	
	24	高齢者に対する労働・福祉政策	2	×	11.7	
	25	外国人に対する福祉政策	1	○	19.1	
	26	日本における社会福祉理論・学説	5	×	16.8	
	27	日本における社会福祉の歴史	3	○	40.3	
	28	近年の社会福祉政策の動向	1.4	×	4.5	
地域福祉の理論と方法	29	現代のイギリスの福祉政策	1	×	26.2	
	30	ジェンダー	4	×	36.0	
	31	福祉サービスの供給	3	×	25.6	
	32	平成25年度NPO法人に関する世論調査	5	×	18.8	
	33	地域における圏域	2	×	14.9	
	34	地域福祉における住民参加のあり方	2	×	56.4	☆
	35	地域福祉計画の策定——事例	1.2	×	22.8	
社会専門科目 設問別成績	36	「地域福祉」という言葉を最初に使用した法律	2	×	42.3	☆
	37	民生委員	5	○	27.1	
	38	共同募金	2	×	59.3	☆
	39	高齢者の交流が目的のサロン活動——事例	2	○	98.4	
	40	アメリカの地域福祉の歴史的發展過程	3	×	42.3	☆
	41	ネットワーキング	3.4	○	77.9	

(名前: 田高 竜介 様 受験番号: 16B000-2004C)

科目	No	設問内容	あなたの解答	判定	正答率	注意
福祉行政と福祉計画	42	地方財政	4	×	42.6	☆
	43	所得保障制度等の財源	5	○	36.7	
	44	平成26年社会福祉施設等調査	1	×	11.3	
	45	最近の社会福祉制度の改正等	1.4	×	28.9	
	46	福祉・医療計画の策定手続き	1	×	27.1	
	47	福祉計画の評価	2	×	15.9	
	48	地域福祉計画における住民参加	2	○	68.8	
社会保障	49	社会保険制度の歴史	4	×	17.7	
	50	年金保険制度の費用負担	2	○	45.9	
	51	社会手当	4	×	10.4	
	52	近年の雇用状況と労働環境の変化	3	○	27.2	
	53	雇用保険制度	3	×	16.6	
	54	平成25年度社会保障費用統計	4	×	5.0	
	55	後期高齢者医療制度	1	○	21.9	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	56	障害者手帳	3	×	9.2	
	57	障害者虐待防止法——事例	5	○	29.9	
	58	平成25年度障害者雇用実態調査	2	○	66.6	
	59	障害者就業・生活支援センターの職員の対応——事例	4	○	65.2	
	60	社会福祉基礎構造改革以降の障害者福祉制度	1	×	21.1	
	61	障害者総合支援法における障害福祉サービス	5	○	32.1	
	62	指定特定相談支援事業所の相談支援専門員の対応——事例	1	○	36.8	
低所得者に対する支援と生活保護制度	63	平成26年度被保護者調査	2	×	46.9	☆
	64	自立支援プログラムによる支援	5	○	69.1	
	65	生活困窮者自立相談支援——事例	3	○	75.5	
	66	近年の経済不況を契機とした貧困対策	5	○	66.8	
	67	生活保護法における扶助	4	○	49.7	
	68	生活保護にかかる地方自治体の役割	5	×	20.0	
	69	生活保護制度を担う専門職	3	○	80.3	
保健医療サービス	70	医療保険の保険給付	1	○	21.2	
	71	平成25年度国民医療費の概況	4	×	35.4	
	72	医療介護総合確保推進法	4	×	40.6	☆
	73	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所および在宅療養後方支援病院	2	×	14.2	
	74	インフォームド・コンセント	1	×	22.6	
	75	緩和ケアやターミナルケア	3	○	66.6	
	76	急性期病棟のソーシャルワーカーによる退院支援——事例	2.4	×	11.3	
権利擁護と成年後見制度	77	離婚	2.3	○	31.9	
	78	日本国憲法	5	○	61.8	
	79	未成年者の権利擁護	3	×	29.0	
	80	成年後見制度の利用手続き	1	×	44.1	☆
	81	日常生活自立支援事業	5	○	42.7	
	82	被虐待児への対応	1	×	56.8	☆
	83	保佐人と遺産相続——事例	4	×	8.4	

社会専門科目 設問別成績

科目	No	設問内容	あなたの解答	判定	正答率	注意
社会調査の基礎	84	社会調査における倫理	2.5	○	91.1	
	85	観察法	1	○	62.8	
	86	インタビューで得られたデータの整理と分析	1.3	×	20.5	
	87	データ収集の方法	1.2	○	63.4	
	88	質問紙の作成方法	3.4	○	58.3	
	89	全数調査と標本調査	5	×	38.0	
	90	回帰分析	2	×	28.0	
相談援助の基礎と専門職	91	社会福祉士及び介護福祉士法の改正	4	○	53.1	
	92	高齢者虐待——事例	3	○	83.3	
	93	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義	4	○	69.7	
	94	通所中の利用者の安全確保や事故予防への対応——事例	1.5	○	82.3	
	95	ノーマライゼーションの歴史	5	○	70.0	
	96	アドボカシー	5	○	51.4	
	97	独居高齢者への対応——事例	4	○	72.9	
相談援助の理論と方法	98	相談援助のための面接技術	5	×	9.8	
	99	自殺防止への対応——事例	1.4	○	84.0	
	100	ケースマネジメントの構成要素と過程	1	○	65.2	
	101	自助グループと専門職との関係性	2	○	75.8	
	102	自立相談支援機関での対応——事例	3	○	85.5	
	103	課題中心アプローチ	1	○	44.0	
	104	生活困窮者へのアウトリーチ——事例	3	○	80.6	
相談援助の理論と方法	105	相談援助におけるプランニング	1	○	69.2	
	106	ソーシャルワークにおけるシステム理論やシステムの思考	3	○	88.2	
	107	性同一性障害——事例	2	○	99.5	
	108	グループワークにおける支援——事例	2	○	69.3	
	109	アセスメント——事例	5	○	74.9	
	110	医療ソーシャルワーカーの対応——事例	5	○	98.3	
	111	生活モデル	1	○	73.9	
相談援助の理論と方法	112	スクールソーシャルワーカーの対応——事例	5	○	87.1	
	113	児童福祉担当職員の対応——事例	2	○	92.7	
	114	問題解決アプローチ	2	○	69.2	
	115	ストレンクスモデル	5	○	40.1	
	116	ネットワーキング——事例	2.4	○	78.2	
	117	援助関係	3	○	82.2	
	118	知的障害者への支援——事例	5	○	97.0	

科目	No	設問内容	あなたの解答	判定	正答率	注意
福祉サービスの組織と経営	119	リーダーシップ	3	○	76.4	
	120	動機づけ	5	○	83.3	
	121	経営	2	○	54.9	
	122	雇用形態とその特徴	2	○	47.7	
	123	福祉サービス第三者評価制度	4	×	33.2	
	124	福祉サービスの組織の把握分析	5	○	54.7	
	125	法人におけるガバナンスとコンプライアンス	2	×	26.0	
高齢者に対する支援と介護保険制度	126	高齢者住まい法のサービス付き高齢者向け住宅	2	×	38.4	
	127	高齢者虐待——事例	4	×	32.6	
	128	地域ケア会議——事例	4	○	64.1	
	129	介護の理念	5	×	66.8	☆
	130	要介護高齢者への介護の方法	2	×	54.4	☆
	131	高齢者に対する住環境整備	2	○	96.1	
	132	介護保険制度における介護報酬	5	○	39.9	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	133	老人福祉法における老人福祉施設	5	○	26.8	
	134	介護支援専門員及び主任介護支援専門員	4	○	77.4	
	135	我が国の少子高齢社会と社会問題	3	×	57.9	☆
	136	我が国の戦後の児童福祉	4	×	7.7	
	137	子ども・子育て支援新制度における保育の利用	4	×	25.8	
	138	児童虐待の防止等に関する法律	5	○	47.2	
	139	児童・家庭福祉制度における機関・施設	2	×	25.8	
就労支援サービス	140	児童相談所の対応——事例	4	○	44.5	
	141	子ども・子育て支援新制度の概要	3	○	46.6	
	142	母子及び父子並びに寡婦福祉法	4	×	27.4	
	143	福祉施策における就労支援と雇用施策	5	×	71.2	★
	144	就労支援員	4	○	66.4	
	145	統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)	4	×	37.4	
	146	生活困窮者等に関する就労支援施策	1	×	58.6	☆
更生保護制度	147	更生保護制度の概要	5	○	66.0	
	148	更生保護における生活環境の調整と仮釈放	3	×	32.2	
	149	医療観察制度	5	×	45.6	☆
	150	更生保護における近年の動向	3	×	63.9	☆

精神専門科目 設問別成績

科目	No	設問内容	あなたの解答	判定	正答率	注意
精神疾患とその治療	84	精神医学、精神医療の歴史				
	85	脳の部位とその機能				
	86	精神疾患の成因と分類				
	87	精神疾患とその症状				
	88	心理的検査				
	89	うつ病ないし双極性障害				
	90	神経性無食欲症にみられる所見				
精神保健の課題と支援	91	精神療法				
	92	精神科薬物療法				
	93	精神科治療における人権擁護				
	94	発達段階における精神保健の課題				
	95	児童虐待と高齢者虐待の現状				
	96	我が国の学校教育				
	97	ストレスチェック制度				
精神保健福祉の理論と相談援助の基礎	98	子どもの貧困問題				
	99	勤労者のメンタルヘルス				
	100	近年の精神保健の諸問題				
	101	精神保健に関する諸活動				
	102	精神保健福祉の啓発団体の活動				
	103	WHO(世界保健機関)の活動				
	104	精神保健福祉士法				
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	105	精神保健福祉士の役割と専門技術				
	106	精神保健福祉士の倫理				
	107	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義				
	108	相談援助の理念				
	109	相談援助活動				
	110	相談援助における権利擁護				
	111	精神科医療機関における専門職の役割				
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	112	行政機関等における専門職の役割				
	113	医療保護入院の同意者				
	114	医療保護入院における精神保健福祉士の対応				
	115	退院支援委員会における精神保健福祉士の対応				
	116	緊急時の対応				
	117	多職種連携における精神保健福祉士の役割				
	118	職場復帰(リワーク)支援				
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	119	精神保健医療福祉の歴史				
	120	精神障害者の人権				
	121	精神障害者支援の理念				
	122	ストレンクス視点に基づく退院支援				
	123	地域を基盤にした相談援助				

科目	No	設問内容	あなたの解答	判定	正答率	注意
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	124	インテーク				
	125	集団精神療法				
	126	SST(Social Skills Training)の基礎理論				
	127	相談援助活動のための面接技法				
	128	家族教育プログラム				
	129	スーパービジョン				
	130	ケアマネジメント				
精神保健福祉に関する制度とサービス	131	地域相談支援				
	132	受診時の初回面接				
	133	情報収集と課題分析				
	134	経過観察(モニタリング)、カンファレンス				
	135	ストレンクスモデルに基づく支援				
	136	当事者活動				
	137	社会資源の開発				